

平成26年度
教科に関する科目
生 活

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は2問とも解答してください。
3. 解答用紙は、1問につき1枚（表のみ）使用してください。
4. 受験番号、氏名を解答用紙の指定された欄に必ず記入してください。
5. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから60分です。
6. 試験が終わるまで退出できません。
7. 「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
8. 下書きには、問題冊子の余白を使用してください。
9. 試験終了後、問題冊子を持ち帰ってもかまいません。

問 1 『小学校学習指導要領解説 生活編』（平成 20 年 8 月）「第 3 章 生活科の内容」の「第 2 節 生活科の内容(2)」の「家庭と生活」について次の問いに答えなさい。

(1) 内容(2)「家庭と生活」の学習として家事の手伝いを行わせる活動が多く見られましたが、それらを基としさらに学習を発展させるためには、どうすればよいか。記述しなさい。

(2) 内容(2)「家庭と生活」の活動を展開する際、特に配慮することを述べなさい。

問 2 『小学校学習指導要領解説 生活編』（平成 20 年 8 月）「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い」の「1 指導計画作成上の配慮事項(2)」で述べられた「第 2 の内容の(7)については、2 学年にわたって取り扱うものとし、動物や植物へのかかわり方が深まるよう継続的な飼育，栽培を行うようにすること」について次の問いに答えなさい。

〈参考〉『小学校学習指導要領』（平成 20 年 3 月）より抜粋

| |
|---|
| (7) 動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所，変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。 |
|---|

(1) 2 学年を見通した指導計画の作成は、どのような点に留意すればよいのか。記述しなさい。

(2) 継続的な飼育，栽培を行うために、どのような指導を行い学年間の連携を整えたらよいのか。記述しなさい。